



# ハーベスト通信

## 20周年 記念号

### 第67号

令和5年8月発行

〒224-0033横浜市都筑区茅ヶ崎東四丁目13番40号

TEL:045-947-0082 FAX:045-947-0088 URL: <http://www.tuduki.jp>

### ☆都筑ハーベストの会総会を行いました！☆

2023年6月17日（土）に 第24回都筑ハーベストの会

総会が開催されました。コロナ禍も5類となりましたので、数年ぶりに通常開催が出来ました。

会員総数77名、出席者22名、委任状45名により総会成立。議長に石井理事が選出され、岡村理事長よりご挨拶させて頂き、続いてご来賓の横浜市都筑区社会福祉協議会事務局長中田元美様にご挨拶頂いた後議事に入りました。2022年度法人・各事業所の事業/会計報告(案)/会計監査報告、2023年度事業計画(案)/収支予算(案)の提案がなされ満場一致承認可決されました。ご多忙のなか多数の皆様にお集まり頂き有難うございました。皆様のご協力のもと円滑な議事進行ができましたこと心より感謝致します。

### ☆第2部 利用者発表☆

第2部では20周年にあたり、松井さんの司会進行で、ハーベストの会を利用されている7名の方より日々の経験や思いを発表していただきました。インタビュー形式や、動画出演もありましたが、ハーベストの会との出会い、仲間との出会い、当会職員との出会いや支援に対する感謝の気持ちが語られました。発表者全員の語り口と力強さに会場が一つになった感じでした。発表をしてくださった利用者さんにお礼申し上げます。今後の支援の場で生かせるよう気持ちを新たにしました。

### 都筑ハーベストの会 20年間の歩み



開所式

H15.3/26 NPO法人登記

H15.10/1 地域作業所 都筑ハーベスト本開所

H18.2/4 精神障害者の地域支援を考えよう 太鼓の響きと琴の音色と共に・グループホーム設立運動

H19.3/1 グループホーム テラ都筑開所

H20.4 地域作業所都筑ハーベストが地域活動センター都筑ハーベストとして再スタート

H20.4/24 都筑区生活支援センターこころ野開所式

H20.5/1 都筑区生活支援センターこころ野、グループホーム ピオ茅ヶ崎開所

H24.10 都筑ハーベストが就労支援B型事業所に移行

H15.3/1 グループホーム「マレット緑」開所

R5.4/1 都筑ハーベストが生活介護事業開始



20年間多くの方々に  
大変お世話になりました！

### ☆お陽さま浴びて

#### 土の恵みを得て☆

畑づくりをしハーベストが形作られました。創成期には作物はなかなか出来ずに甲野さんや佐々木さん達が有機農業、無農薬を目指して、農業のいろはから学びました。茨城県などに行き勉強し熱心に打ち込んで頂き試行錯誤し、現在のハーベストを作り上げました。

お陽様のひかりを浴びて収穫の喜びを感じられるのは利用者さんにもとても良い環境だと思います。

その後グループホームを設置、横浜市からの要請もあり生活支援センターこころ野を運営する事になりました。

現在ではグループホーム3箇所、生活支援センターこころ野、最初に始めたハーベストと5事業所を運営しております。ここまでこれましたのは理事の方々はじめ職員の方々の努力、なんと言ってもメンバーさんがハーベストの事業を利用することにより今迄より元気になって活動出来るようになったことがハーベストが存続できる大きな要素です。

これからも皆んなで知恵と力を合わせてやって行きたいです。 理事長 岡村 真由美





熱暑、稀に見る酷暑、外に居ることが危険になるような天候が続いておりますが如何お過ごしでしょうか。当会に関わる関係者の皆様の支援に感謝する次第です。さておよそ20年近くの経緯を得て今のハーベストがあります。始めは体験農場を農家の畑のほんの一部をお借りして、プロの農家さんがお膳立てした畑の種まき収穫のみを月に2回土曜日に行っておりました。少しずつ参加者も増え、池辺の北畑も借りられ、仲町台でボランティア、メンバーを各自の車に乗せて何とかスタートしましたが初めてやることばかりで畑の中を飛び回って約1年ほどやっておりましたがベースとなる作業所が欲しいとの事で作業所の土地探し、地元の有力者の力添えもあり、建物の設計段階から関わる事も出来ましたが、紆余曲折あり建物の完成が遅れて作業所開設が予定通りいかず関係方面にご迷惑をおかけしました。

資金面では各理事からの借入金で何とかスタートしました。最初はメンバーが数人で何やりましょうか?から始まり、中古ポンコツのボックスカーで畑まで送迎はやっていましたがだんだんメンバーが集まって来ると車1台で何度も畑までの送迎で一日が終わってしまいました。畑も鴨居畑、南畑、新南畑と増え、移動も草刈りも大変でした。作業所の隣土地が空いていましたのでこれをお借りして利用者が自分の半畳畑も持ち、採れた野菜を作業所で食べる楽しみがありました。農家の取り残した野菜等はお願ひして色々な場所へ取りに行き、プロ農家の凄さ感じさせていただきました。耕運機は募金で中古の古い手押し耕運機を買い、小型トラックは寄付を頂き、名古屋まで取りに行きました。作業所内の備品は倒産した食品工場の食器、調理機材を大量に頂き助かりました。

これまで来られたのは大勢の皆様、理事、職員、関係機関、家族会、町内会をはじめ地域の方々、ハーベスト会員の支援があったからです。無論利用者の情熱と力が大きかったことです。これからもご支援のほどよろしくお願ひします。

理事 甲野 文雄



2000年の冬。自分たちの仕事を終えた私たち4人は、夜遅くまで幾度も話し合いました。“どんな作業所を何所に作ろうか”と。そして利用者の皆さんが楽しく安心して通える農を主体とした作業所を都筑区に開設しようと動き始めました。

開設まで必ずしも順調ではありませんでしたが、開設準備委員会を設立し、仲町台の駅に集まった仲間たちと、体験農業や味噌づくりの会などを開催し、夢や希望を語り合いながらの楽しい日々でした。

2003年にNPO法人を取得し地域作業所「都筑ハーベスト」が誕生しました。あれから20年。生活支援センターこころ野、三カ所のグループホームと事業所数も増えてきました。この間には、大きな法改正もあり、近年ではコロナによる危機もありと様々な課題を乗り越えてきました。思えば、どれほどたくさんの方々にご理解ご支援を頂いたことでしょうか。農業のイロハも分からない私達に農協の実験農地を貸して下さり指導して頂いた農協青年部の皆さん、私たちの活動に賛同していただいたボランティアの方々、家族の皆様、畑を貸して下さった農家の方、敷地建物を提供して頂いた地主さん、行政関係者、現場で頑張っている職員達、何より利用して頂いているメンバーさん達。法人設立から20年の時を経て、今日あるのは皆様のお陰と深く感謝しております。事を始める大変さもありますが、存続していく難しさも否めません。これからも沢山の課題を抱えながら法人の理念である「共に歩む」を大切に進んでいきたいと思ひます。

理事 石井 真美子



20年ほど前に初めてハーベストの会に参加した時は都筑区池辺町（北畑）での体験農園でした。まだ事務所も施設もなく、参加者は仲町台駅前に集まり、ボランティアの方の車数台で畑へ連れて行っていたいただきました。畑に着いて、広くて解放的な場所に驚きました。

制度上では「精神障害者地域作業所」の開設に向けた体験農園でしたが、地域の様々な方が参加されていて、みんなで畑で過ごし、作業やおしゃべり、野菜を食べたり、道具小屋をつくったり楽しい時間でした。

作業の後にはサッカー観戦やカラオケ、飲みに行ったりした記憶があります。その後作業所が建ち、拠点ができ、地域の方から家具の寄付や、閉店する店舗の備品をいただいたり、畑もほとんど手作業から始まりました。

当時の地域作業所は無認可事業で市の補助の規模も小さく、地域の方に支えていただきました。近隣のボランティアさんや家族会や自治会、民生委員さんや社協の方、NPO、学校のおやじの会など様々な方々に助けていただき、祭りの出店なども含めて交流も多くありました。現在ではグループホームや生活支援センターもでき畑も大きくきれいになり地域の方が多く来てくださるようになりました。

ハーベストの会での20年でメンバーの方々と一緒に多くを学ばせていただきました。引き続きハーベストの会での農のある地域での暮らし、活動がメンバーさん、私たち地域の様々な人にとって心地よいものであることを願ひます。

(理事・職員) 鈴木 智志



☆ ハーベストで20年 ☆

自分がまさか同じ作業所に20年も通うことになるとは…。これがまず第一の実感。ハーベストができる前は今のクリニックのデキアに通いながら、週末のほど良い気分転換にでもなればと思い体験農場に参加していた。どちらかと言えば、クリニックのデキアの方に比重を置いていたように思う。それが少しずつ農の道に魅力を感じ出したのは共に作業をする仲間との交流だったり、ちょっと休時間でのおしゃべりで笑い合ったりして心がほぐれていた。やがて、体験農場のこととちろんとデキアで話すと、「今度一緒に行ってみていいかな？」と、今でも交流が続いている。Nさん(通称Mちゃん)が興味を示してくれた。

こうして段々と徐々に輪が広がっていく。メンバーの人達と作業後に外食したりすることもあった。肝心の畑ではどんなこととしてたかという、茄子、キュウリ、カボチャの苗付けや葉物等の種まき、サツマイモの苗付けなどである。畑作業をする都筑区というところは緑が多く残っているところで春には公園での桜を見る花見や、秋は畑で焼芋を焼いて皆で食べたして都市部ではなかなか得難い体験をした。こうして、徐々に自分はデキアから畑の方へとシフトチェンジしていくことになる。だが、それでも堆肥や牛糞、鶏糞などのニオイに慣れるまでは苦心した。それでも苦勞の多い畑での日々や作業所での漬物づくりを続けてこれたのはハーベストの優しい世話好きなスタッフのおかげだろうとひそかに信じている。これからも都筑ハーベストに栄光あれ！(ハーベスト)の意味は収穫のことである。

高橋 良幸

☆ ハーベストで20年 ☆

ハーベストの開所時から勤務している職員として振り返りますと、私自身がハーベストに育てていただいた20年であったと感謝の気持ちでいっぱいになります。沢山の思い出の中でも大勢の関係者が集った「かけはし都筑」での開所式とは別に、作業所の2階の和室にマイクと楽器がおかれ、軽食を伴った祝賀パーティーが開かれました。

都筑ジャズ協会の協力で歌姫が千葉から来られ、演奏を楽しんだ後に全員で「上を向いて歩こう」を大合唱した時は未来のハーベストを想像させるワクワクした瞬間でした。

当時は区役所の福祉担当者がご自宅のストーブを寄付して下さい、内職作業を手伝って下さったり、社会福祉協議会の職員さんが休日にご自分の車を出して農業研修に参加して下さいと、今では考えられない密接な関係がありました。

女性職員は私1人でしたので、ボランティアやご家族の協力は必須でした。今でも継続して家族会の藤尾様と竹内様には作業やメンバーさんの相談相手としてお手伝いいただいております。当時サラリーマンだった元理事長が毎週土曜日に来られ、慣れない私を励まして下さいました。今では立派に現職員がそのお役を果たされています。

優しさで真面目さが際立ち、才能にあふれ、個性豊かなメンバーさん達と活動することは新鮮な感動があり、今に至っております。当時を知るメンバーさんに「あの時、金子さんは息子さんのことで悩んでいましたよね！」と言われた時はむしろ自分は支えられていたのだと気づかされました。今でも元メンバーさんから連絡があり、来所されることもあり、とても嬉しいです。これからも野菜と人をつなぐプラットフォームであり続けていくことでしよう。

金子 とも子



☆ ハーベストの畑で働いて ☆

私は都筑ハーベストで主に畑で働いている。ここは働く意志のある人は誰ひとり取り残さない。ハーベストに入った事でハリが生まれ、朝早く起きることになった。少しでも長くハーベストで働きたい。

ほうれん草の収穫



10年くらい前にあるメンバーから「ほうれん草を栽培したい」と声が上がって、種をまいたが、最初はあまりうまくいかなかった。それから10年位かけて、今は立派なほうれん草が収穫出来るようになった。家で普段買っているほうれん草とハーベストのほうれん草のおひたしを作ってみた。そうしたら、ハーベストのおひたしはとろけるような味がして、ものすごくおいしかった。大成功だった。よい野菜を作るという事は簡単なことではない。失敗もある。工夫を重ねてよいものが出ていく。日々の地道な作業がおいしい野菜の収穫へとつながっていく。ねばり強い気持ちが大事なんだと。野菜作りでも教えられる。スポーツでも人生でも同じことが言える。

収穫体験の男の子

忘れられない参加者がいる。その子はお父さんとお母さんの3人で参加した。年は5、6才といった所か。男の子だった。さつまいもの収穫はほぼ順調に終わりかけていた。お父さん、お母さんも満足そうで、次の収穫に行こうという感じだった。しかしその男の子はあきらめない。何か手応えがあるのか、土を深く掘るのをやめない。私が見てみると、土しか見えなかったが、とにかく応援した。「分からない、分からない、頑張れ、頑張れ」と。すると、相当深く掘った先に、遂にサツマイモの先が見えてきた。男の子はどンドン掘り続ける。遂にそこそこ大きいサツマイモを収穫した。私は感動して言った。「君、諦めなかったね。すごい。このお芋さんだけは、少なくとも半分は、君が食べていいよ。全部食べてもいいくらい。ねえ、お父さん、お母さん。君、このお芋さんは、大事に持って帰るんだよ」と。男の子はあっ気にとられていて、なぜ、私がそう言うのか分からないという様子だったが収穫したサツマイモは両手で握って放さなかった。私は逆に教えられたと思った。人生、簡単に諦めてはいけないんだ、と。



菊いも

冬の時期のバザーで「菊いも」というものが出てきた。確かに年末に収穫した事がある。最初は10袋出てきた。しかし知名度の低さから全く売れなかった。次の週には20袋になった。売れない状況はそのままで。これは一体どうすればいいのかわからない。商品はそのうち売れるのだが菊いもはサツパリだ。「これは、どうすればいいのかわからない。売れない菊いもを見ながら、バザーを続けていた。私が考えたのは、菊いもをどう食べたらいいのかわからないのではないかと。どんなものかわからないと同時に、それを改善すべきだと思った。私は自分でレシピを作る事を考えてみた。バザー後の振り返りに、作り方と写真を私は作って、それをパソコンでまとめてくれる相棒をつけた。快く名乗り出してくれるメンバーが出てくれて助けてくれた。翌週30袋分のレシピが完成して、バザーに持ち込んだ。結果は当たった。相当に菊いもは売れた。「これは良かった。」私はホッとした。嬉しかった。それからは、毎年冬の菊いものとれる時期になると新しいレシピを1つ作るようにして、今では菊いもは、ほぼ完売している。

(20周年発表 抜粋) 木村 徹



## ☆入居者の先輩（金澤 幸夫）さんにインタビュー☆

入居年月日：平成23年9月1日 入居年数：12年

入居時と比べて変わったこと：入りたての頃は自分が一番後輩でしたが、今は職員さんも含めて自分が一番先輩になりました。

ビオの住み心地は？：これ以上住み心地の良いところはないと思います。

法人に望むこと：今のままで充分です。

今後の希望：今の生活を維持したいです。

20周年に向けてのひと言：これからも長くお世話になりたいです。

## ☆ 新人職員です。「よろしくお願ひ致します！」 ☆

6月から事務局で非常勤スタッフとしてお世話になっています。高橋です。

早く仕事を覚えて一人前に働けるようになりたいと思っていますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

高橋美津子



5月より非常勤職員として勤務させて頂いております。永井です。

職員さんメンバーさんのやさしさに楽しく通わせて頂いております。

まだ未熟ですが宜しくお願ひ致します。

永井 伊功子



年会費、寄付してくださった方々、誠にありがとうございます。

Thank you

### ◆年会費をいただいた方（敬称略）

飯田 和子	石井 眞美子	伊奈 明弘	大久保 瑞穂	大山 健	片岡 仙文
片岡 仙文	金子とも子	河内 圭子	久米野 清美	甲野 文雄	小菅 郁
小林 紘治	小林 良輔	末木 亮史	鈴木 綾子	鈴木 圭太	鈴木 智志
鈴木 春実	鈴木 礼子	鷹野 薫	高橋 寿江	田尻 静子	田中 公夫
永井 靖子	中西 香穂理	中村 千江	七井 貴洋	成田 恵	生川 敦子
西村 勇一郎	根本 幸子	野村 教子	長谷川 眞	平濱 智	藤尾 梅香
本間 宥司	前田 絢子	松井 祥子	松田 優香	三留 基房	宮沼 恵美子
望月 珠江	八木 陽子	山下 亮子	吉田 志津子	吉味 徳子	

さいとうクリニック 斎藤 庸男 ヤンテック（株）矢野 嘉哉  
アサヒタクシー（株）藤井 嘉一郎 社会保険労務士ナナオ事務所 七尾 由美子  
まきもとメンタルクリニック 牧本 康文 （株）吉永商店 吉永昌生 （株）クリーフ 及川 敦嗣  
すずらん会 工藤 智子 地域活動支援センターペガサス （有）金子保商事 金子 進



### ◆寄付金をいただいた方（敬称略）

清野 富男	松山 茂樹	野村 敦子	成田 道代	青柳 虔一	本間 宥司
佐藤 祐子	高橋 寿江	中垣内輝子	伊奈 明弘	前田 絢子	

当会の活動に賛同し、ご支援くださる方の年会費（一口1,000円、何口でも可です）、並びに寄付金は下記郵便振込口座にお願いいたします。

口座番号：00240-5-57564 名称：特定非営利活動法人 都筑ハーベストの会

### 編集後記

今回の通信は当会に関わった皆様の思いがあふれた夏号になりました。20年間変わらずご理解ご協力を賜りましたこと感謝いたしております。これからも理事、職員一同力をあわせて共に歩んで参ります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。残暑厳しい折皆様どうぞお身体ご自愛くださいますように。

事務局

